



桐生商業高校の3年生が難関国家試験 「応用情報技術者試験」に合格しました

情報技術の難関国家試験である応用情報技術者（令和3年秋期）に、桐生市立商業高等学校の3年生が合格するという快挙を成し遂げました。

全国で33,513人が受験し、合格が7,719名、うち高校生の合格は20名でした。また、群馬県内高校生の合格者はわずか1名であり、同校では7年ぶりの合格者の輩出となります。

合格した生徒は3年生で、コンピュータ部に所属し、授業や放課後の部活動・家庭学習等で努力を重ねた結果でした。

- **試験概要** 応用情報技術者とは、独立行政法人「情報処理推進機構」（IPA）が主催し、経済産業大臣が認定する国家試験「情報処理技術者試験」の12ある区分の中の一つです。平成19年に発表された新試験制度の概要の中で共通キャリア・スキルフレームワーク（レベル1～4）のレベル3に位置付けられていて、ITエンジニアとして応用的な知識・技能を有することを国が合格者に対して証明する試験です。

（試験の難易度）

難易度は、「勉強してもなかなか合格できない試験」というのが一般的な評価であり、数ある国家資格・試験のなかでも難関の部類に入ります。

高度IT人材となるために必要な応用的知識・技能をもったものを対象としたもので、実務経験が数年以上のプログラマー、システムエンジニアが主に受験する中、高校生で合格するのは非常に難しい試験です。

- ・年2回実施
- ・合格率は20%前後
- ・合格平均年齢は29歳前後

- **その他** 当該生徒への取材を希望される場合は、事前に御連絡いただきますようお願いいたします。

- **学校ホームページ** <https://kirisyo.edumap.jp/>



【問い合わせ】

教育部学校教育課 商業高等学校
事務担当 増田
担当教諭 黒澤
TEL 0277-44-2477